

京都府立医科大学大学院保健看護学研究科 アドミッションポリシー(入学者受入方針)

<博士前期課程>

『求める学生像』

- 1 高度で専門的な知識と技術に裏付けられた看護実践力を身につけ、保健看護学の発展に貢献する意欲のある人
- 2 豊かな人間性を備え、生命の尊厳を守る高い倫理観を持つ人
- 3 自らの研究成果を国内外に発信しようとする人
- 4 不断の自己研鑽ができる人

『入学者選抜の基本方針』

本学の理念は世界トップレベルの医学を地域に生かすことである。

保健看護学研究科においても、最先端の生命科学・医学・看護学の知識と、倫理性と創造性に富み、人々が生活する地域社会において高度医療に対応できる質の高い看護を提供できる学生を求める。

本学の入試では、看護学の共通領域および研究領域の筆記試験により保健看護学の研究遂行に必要な専門的知識および能力を評価する。

また、入学志願理由書および個別面接により、保健看護学の学修に関する関心や意欲、人間性を評価する。

<博士後期課程>

『求める学生像』

- 1 保健看護学の専門的知識を基盤に、臨床および教育現場で活用可能な理論と方法論の創出に貢献する意欲のある人
- 2 地域社会において保健・医療サービスを提供するためのシステムの構築およびマネジメントに貢献する意欲のある人
- 3 専門職としての高度で専門的な知識と技術、高い倫理観に裏付けられた看護実践や教育の推進に意欲のある人
- 4 不断の自己研鑽ができる人

『入学者選抜の基本方針』

本学の理念は世界トップレベルの医学を地域に生かすことである。

保健看護学研究科においても、最先端の生命科学・医学・看護学の知識と、倫理性と創造性に富み、指導者、管理者、教育者、研究者として国際的に保健医療活動に貢献できる人を求める。

本学の入試では、共通科目および専門科目の筆記試験により保健看護学の研究遂行に必要な専門的知識および能力を評価する。

また、入学志望理由書および個別面接により、保健看護学の学修に関する関心や意欲、人間性を評価する。